

総合 | 環境貢献型事業の拡大

方針・考え方

環境と企業収益の両立を目指し、
環境配慮型商品・サービスの開発・普及を推進

当社グループでは「環境」は事業機会になり得ると捉え、「事業を通じて環境に貢献する」「環境を各事業の付加価値にする」という考え方をもとに、「環境貢献型事業の売上高」を重要管理指標としています。各社・各事業部ごとに環境配慮型商品を定義し、その売上高目標を設定、方針や施策を策定して積極的に取り組んでいます。

□ P137 環境データ 環境マネジメント

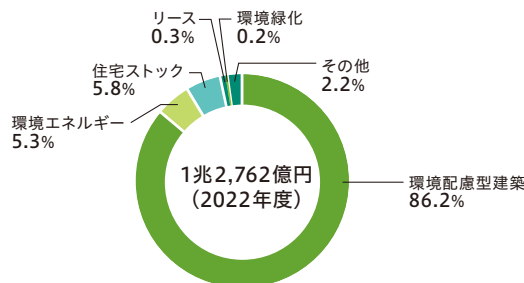
■ 環境貢献型事業の定義 (エンドレスグリーンプログラム 2026の場合)

事業		定義	
環境 配慮型 建築	戸建住宅	BELS★★★★★ (用途別BEI基準値)に相当する建築物	
	賃貸住宅	用途	BEI値
	マンション	住宅	0.8以下
	商業・事業施設	ホテル等・病院等・百貨店等・飲食店等・集会所等 事務所等・学校等・工場等	0.7以下 0.6以下
環境エネルギー		電力小売事業、再エネ電力売電事業、PPA事業、再エネ・省エネ設備請負工事、省エネソリューション、非化石証書仲介	
住宅	リフォーム	太陽光発電、蓄電池、省エネリフォーム	
ストック	買取再販	リノベーションによる中古住宅再販	
リース		省エネ設備リース、電気自動車リース	
環境緑化		緑化事業全般、Park-PFI事業	
その他		LED照明販売、省エネエアコン販売、遮光カーテン販売 など	

主な取り組み

2022年度は、全グループ売上高の25%にあたる1兆2,000億円を環境貢献型事業の売上高目標に設定し、環境エネルギー事業をはじめ各社・各事業での取り組みを進めました。その結果、環境貢献型事業売上高は、1兆2,762億円(売上高の約26.0%)となり、目標を達成することができました。

■ 環境貢献型事業売上高



(戸建住宅) ZEHの普及拡大

2022年度は、主力商品である「xevo Σ」をはじめとしたZEH対応住宅商品の販売を拡大してZEHを推進しました。さらに重量鉄骨系商品「skye(スカイエ)」においても高断熱仕様を追加設定することで、ZEH対応を可能とし、商品の拡充を図りました。また、営業職・設計職に向けたZEH研修を継続実施し、ZEH提案に対するスキルアップを図りました。その結果、ZEH率は86%(2021年度53%)※と大幅に拡大しました。



重量鉄骨系商品「skye」

※ 2021年度の実績は受注ベース、2022年度の実績は着工ベースで算出しています。

□ P034 (戸建住宅) ZEHの普及拡大を推進

(商業・事業施設) ZEBの普及拡大

多種多様な用途の建物で環境配慮技術をパッケージ化した「D's SMART シリーズ」を販売・展開し、ZEBの普及を推進した結果、2022年度のZEB率は65.7%(2021年度38.0%)となりました。

また、ZEBの優位性をお客さまに訴求すべく、一般財団

法人省エネルギーセンターと協働してZEBセミナーを開催。当社グループ研修施設を活用して相談会も実施しています。2022年度は計8回開催し、514名の方に参加いただきました。

□ P035 (商業・事業施設) ZEBセミナー開催および、ZEBの実践と技術力向上

(環境エネルギー) 再生可能エネルギーの普及拡大

グループ全体で385カ所、602MW^{※1}の再生可能エネルギー発電所を運用しています(2023年3月末)。

2022年度は、神奈川県や埼玉県などにおいて大型の太陽光発電所を新たに31カ所41MW稼働させました。

また、当社がお客さまの保有する建物の屋根に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーを直接供給するオンサイトPPAモデル^{※2}を推進。お客さまの初期コスト抑制と温室効果ガス削減の両立に貢献しています。

※1 自家消費分を除く

※2 お客さまが保有する施設の屋根などを活用し、無償で再エネ発電設備を設置、発電した電気をお客さまの施設に提供するサービスモデル



DREAM Solar 横浜戸塚(神奈川県)
(物流施設: DPL 横浜戸塚)

(環境緑化) 都市公園の質を向上

当社グループの大和リースは、環境緑化事業を展開しています。近年、建物の屋上や壁面のみならず、建物の屋内、外構にも事業範囲を拡げており、総合的な緑化活動を行っています。

また、都市公園における公民連携事業も実施しています。2023年4月からは、大阪府の扇町公園や、愛知県の天王川公園などの管理運営を開始。

民間の活力を導入することで、使いやすく活気があふれるような公園の運営を行っていきます。



扇町公園(大阪府)